

浅井北だより



☆よく考え自ら学ぶ子 きまり正しく心豊かな子 健康でたくましい子☆

令和4年10月号

「もえ上がる心 深まるきずな」

5年生が、9月9日（金）10日（土）に、「もえ上がる心 深まるきずな」を合言葉のもと、1泊2日の野外教育活動に全員そろって出かけることができました。

1日目は、澄み渡る青空と豊かな山の木々に迎えられながら旭高原自然の家に到着をし、みんなで記念撮影を行いました。午後には屋外にある創作棟にて、創作活動を行いました。子どもたちは、動物の形に切り取られた杉の木を職員にバーナーで焼いてもらい、その後、やすりで削り、磨きかけるなどして、ペン立てに仕上げました。自分の好みに仕上げようと、一人一人こだわりをもちながら、熱心に取り組んでいました。作業が一段落した後は、創作棟のバルコニーから山々を眺め、吹いてくる風を体全体で感じながら談笑するなど、自然を満喫しました。

夕刻より、キャンプファイヤーを行いました。ファイヤー委員の児童を中心に、楽しいクイズやゲームなどを行いました。代表でクイズに挑戦する子や、ゲームでがんばった子には、その都度、温かな拍手が自然に送られたことが、とても印象的でした。また、地元のボランティアの方がファイヤーキーパーをしてくださり、子どもたちの輪の中心には、常に美しい炎が輝いていました。ファイヤー後には、子どもたちが自主的にボランティアの方に「ありがとうございました」と声をかけており、お世話になった方への心配りをとても嬉しく思いました。



2日目には、浅井3校で「朝の集い」を行いました。それぞれが学校紹介をし、親交を深めることができました。朝食後、お世話になった施設をみんなで清掃し、道具の後始末まできちんと行うことができました。最後のハイキングでは、登坂に音を上げる様子もありましたが、励まし合い、道中の景色を楽しみながら、最後まで無事に歩くことができました。

野外教育活動の出発時には、私から「3つの間を大切に」と題して、以下のように話をしました。

- ・「時間」…時間は使うものではなく、作るもの。時間を大切にして活動しよう。
- ・「空間」…誰もが楽しく居心地のよい場所となるよう、思いやりの心で過ごそう。
- ・「仲間」…同じ時間を同じ場所でともに過ごす仲間として、互いを大切に、楽しく過ごそう。

子どもたちは、担任から折に触れ「この活動で大切にすることは」「もっと充実させるにはどうしたらよいのか」など問いかけられ、考えながら2日間過ごしました。家庭を離れ、寝食を共にすることで、自分と向き合い、また、普段は気が付かない友達のよさに気づき、絆を深めることができましたと思います。今回の経験を生かし、子どもたちが互いに励まし合い、認め合いながら、学年や各自のゴールに向かって進んでいけるよう、支援をしていきたいと思っています。

